

2020年6月24日

各 位

会 社 名  株式会社 日阪製作所
代 表 者 名 代表取締役社長 竹下 好和
コード番号 6247
上場取引所 東証 第1部
問 合 せ 先 執行役員経営企画本部本部長 波多野 浩史
電 話 番 号 06-6363-0007

決算説明資料のホームページ掲載に関するお知らせ

当社は、本決算発表後に決算説明会（機関投資家、アナリスト向け）の開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、参加者の皆様および当社関係者の健康と安全確保を第一に考慮した結果、開催を中止することといたしました。本説明会へのご参加を予定されていた皆様には誠に申し訳ございませんが、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

「決算説明資料」につきましては、本日当社ホームページに掲載いたしましたので、ご高覧いただければ幸いです。

なお、決算の内容についてご質問等がございましたら、下記の問い合わせ先までお知らせ下さい。個別にご回答いたします。

◇当社ホームページ

https://www.hisaka.co.jp/ir_info/pdf/2020_4s.pdf

【決算説明資料に関するお問い合わせ先】

株式会社日阪製作所
経営企画本部 経営戦略部 中谷、青山
TEL：06-6363-0015
Email：ir@hisaka.co.jp

以上

証券コード：6247

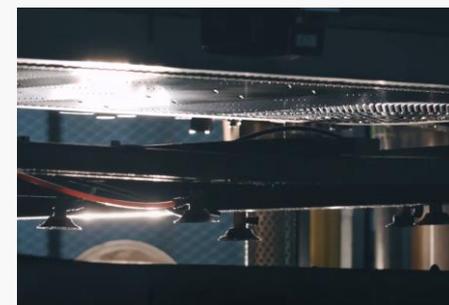
2020年3月期

決算

中期経営計画

「G-20」

説明資料



2020年6月24日

 株式会社 ひ 阪 さ 製作所

目次

- 会社概要 . . . 2
- 2020年3月期決算の概要 . . . 4
- 2021年3月期決算の見通し . . . 17
- 前中期経営計画「**G-17**」の総括 . . . 23
- 新中期経営計画「**G-20**」の概要 . . . 28

会社概要

社名	株式会社 日阪製作所 HISAKA WORKS, LTD.
創業年月	1942年5月（昭和17年5月）
事業内容	産業機械製造販売業（熱交換器、蒸発・蒸留・凝縮装置、染色仕上機器、食品機器、医薬機器、ボールバルブなど）、発電事業
資本金	41億5千万円
発行済株式総数	32,732,800株
株式上場	東京証券取引所 市場第一部
売上高	325億円（連結／2020年3月期）
従業員数	906名（連結）
関係会社数	11社（海外関係会社含む）
国内拠点	大阪本社、鴻池事業所、青梅事業所 東京・名古屋・九州・北九州支店、北海道・千葉営業所 ※ 2020年4月 尾道営業所を開設
海外拠点	マレーシア、フィリピン、ベトナム、タイ、シンガポール、インドネシア、中国、サウジアラビア、韓国

※2020年3月末現在



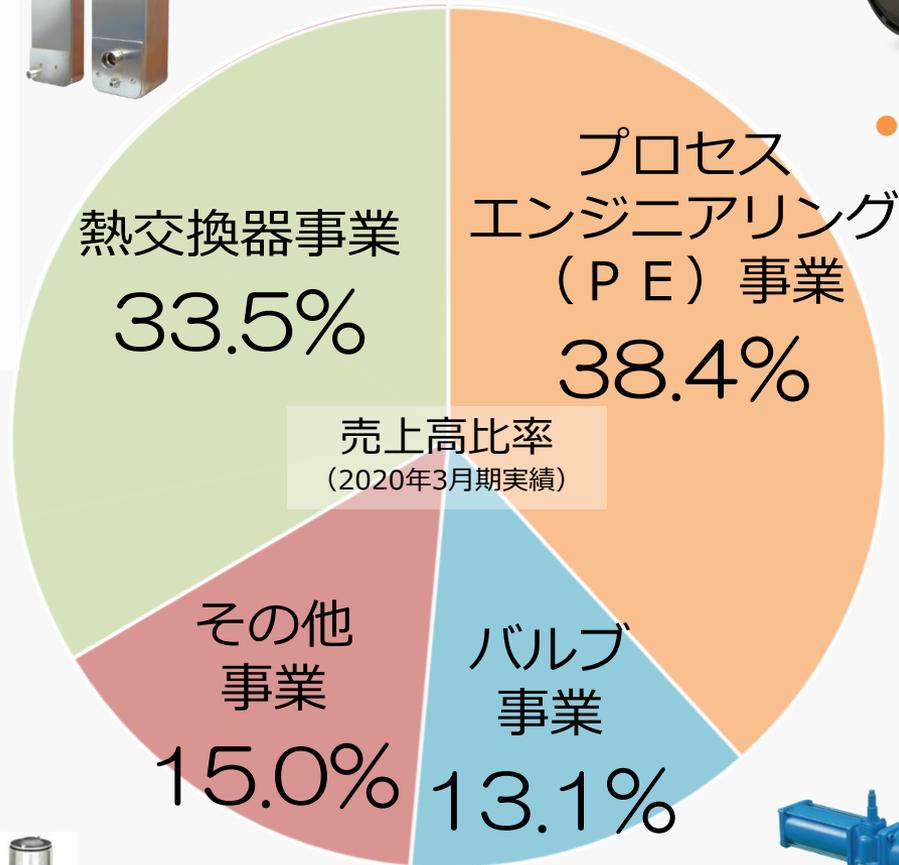
日阪グループの事業領域



●プレート式熱交換器



●レトルト調理殺菌装置



●連続液体滅菌装置



●全自動連続殺菌冷却装置
(その他事業/旭工業株)



●液流染色機



●サニタリーバルブ
(その他事業/マイクロゼロ株)



●ボールバルブ

2020年3月期 決算の概要

1-① 決算の概要 (対前年)

(百万円)

	2019年3月期 通期		2020年3月期 通期		増減	
	実績	利益率	実績	利益率	増減額	増減率
受注高	30,669		31,952		1,283	4.2%
うち、海外受注高	6,395		4,760		▲ 1,634	▲ 25.6%
売上高	30,939		32,511		1,571	5.1%
うち、海外売上高	4,585		5,966		1,380	30.1%
営業利益	2,040	6.6%	2,274	7.0%	233	11.4%
経常利益	2,337	7.6%	2,573	7.9%	235	10.1%
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,596	5.2%	2,080	6.4%	483	30.3%

※当連結会計年度より、小松川化工機株式会社ほか2社を新たに連結の範囲に含めております。

1-② 決算の概要 (対計画)

(百万円)

	2020年3月期 通期		2020年3月期 通期		計画比	
	計画	利益率	実績	利益率	差額	達成率
受注高	31,000		31,952		952	103.1%
売上高	31,000		32,511		1,511	104.9%
営業利益	2,100	6.8%	2,274	7.0%	174	108.3%
経常利益	2,350	7.6%	2,573	7.9%	223	109.5%
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,800	5.8%	2,080	6.4%	280	115.6%

※当連結会計年度より、小松川化工機株式会社ほか2社を新たに連結の範囲に含めております。

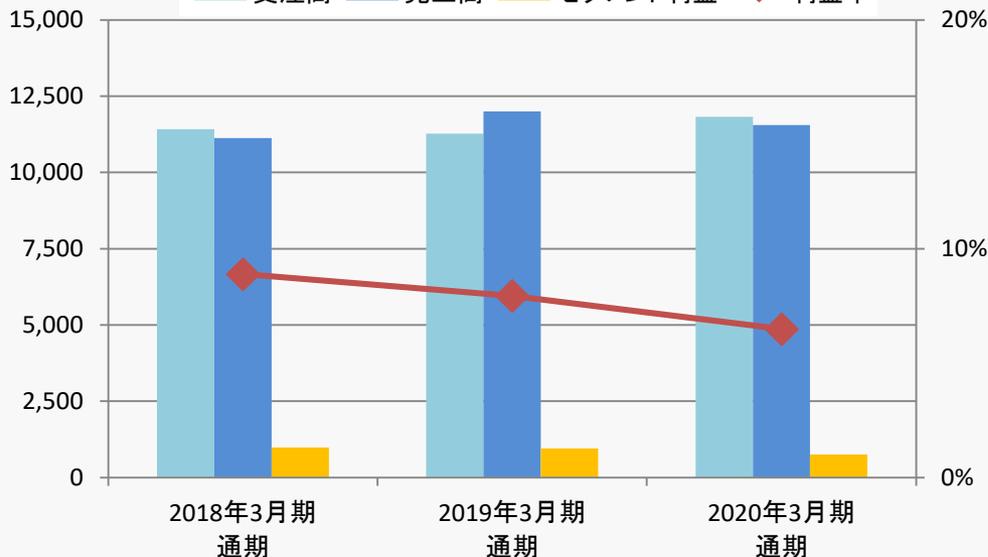
2-① 熱交換器事業

(百万円)

	2019年3月期 通期	2020年3月期 通期	増減	
			増減額	増減率
受注高	11,277	11,827	550	4.9%
うち、海外受注高	792	891	99	12.5%
売上高	11,997	11,552	▲ 445	▲ 3.7%
うち、海外売上高	849	781	▲ 68	▲ 8.0%
セグメント利益	952	750	▲ 202	▲ 21.2%
利益率	7.9%	6.5%	▲ 1.4 pt	

(百万円)

■ 受注高 ■ 売上高 ■ セグメント利益 ◆ 利益率



<受注高>

- 国内化学業界向けの更新需要、船舶業界向けが好調
- 海外のプラント案件を受注
- × 産業機械、空調関連の中小型汎用品が低調

<売上高>

- 国内化学業界向けの更新需要が好調
- 船舶関連の豊富な受注残
- × 火力発電等の電力向けや中東などのプラント向けの大口案件の減少

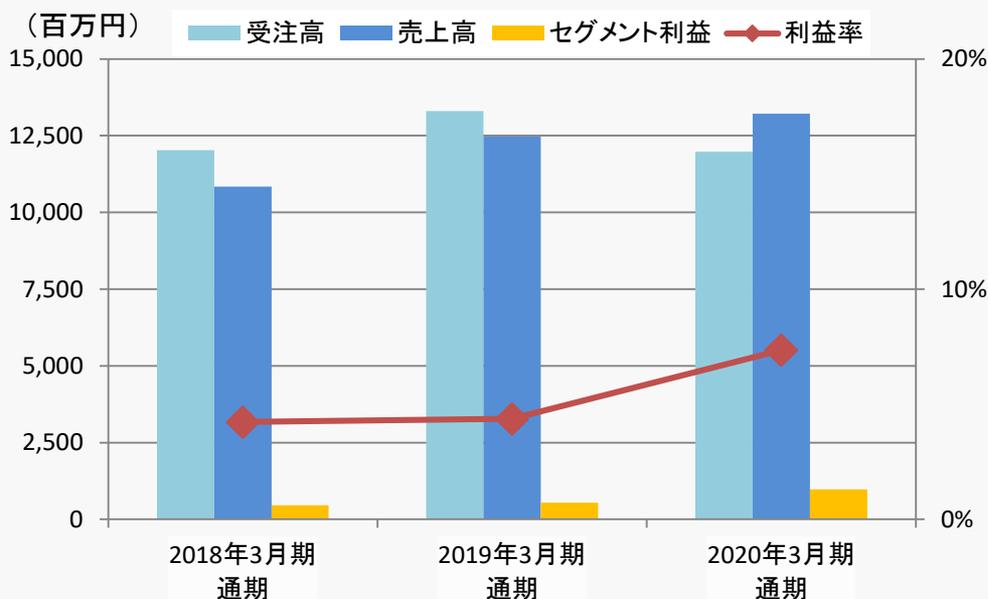
<セグメント利益>

- × 売上高の減少
- × 比較的採算の良い中小型汎用品の売上比率低下
- × 原材料の在庫増加による評価減

2-② プロセスエンジニアリング事業

(百万円)

	2019年3月期 通期	2020年3月期 通期	増減	
			増減額	増減率
受注高	13,305	11,973	▲ 1,331	▲ 10.0%
うち、海外受注高	4,274	1,544	▲ 2,729	▲ 63.9%
売上高	12,470	13,221	750	6.0%
うち、海外売上高	2,006	3,384	1,377	68.6%
セグメント利益	544	972	428	78.7%
利益率	4.4%	7.4%	+ 3.0 pt	



<受注高>

- 医薬機器の調合設備の受注やメンテナンスが好調
- レトルト食品やチルド食品向けの殺菌装置が堅調
- グループ会社との協働による食品案件の受注増
- × 前年同期に受注した食品大口案件の反動
- × 染色仕上機器のASEAN市場向け案件が新型コロナウイルス感染症の影響により延期

<売上高>

- 米飯プラント、乳製品プラントなどの大型案件
- 染色仕上機器の国内外の更新・増設需要が好調
- × 前年同期に受注した医薬大口案件の反動

<セグメント利益>

- 売上高の増加、コスト構造の改善

2-② プロセスエンジニアリング事業（内訳）

【プロセスエンジニアリング事業の内訳】

（百万円）

		2019年3月期 通期	2020年3月期 通期	増減	
				増減額	増減率
	食品機器	9,738	7,745	▲ 1,993	▲ 20.5%
	医薬機器	1,226	2,048	822	67.0%
	染色仕上機器	2,340	2,180	▲ 160	▲ 6.8%
受注高		13,305	11,973	▲ 1,331	▲ 10.0%
	食品機器	8,337	9,693	1,356	16.3%
	医薬機器	2,185	1,143	▲ 1,042	▲ 47.7%
	染色仕上機器	1,947	2,384	437	22.4%
売上高		12,470	13,221	750	6.0%

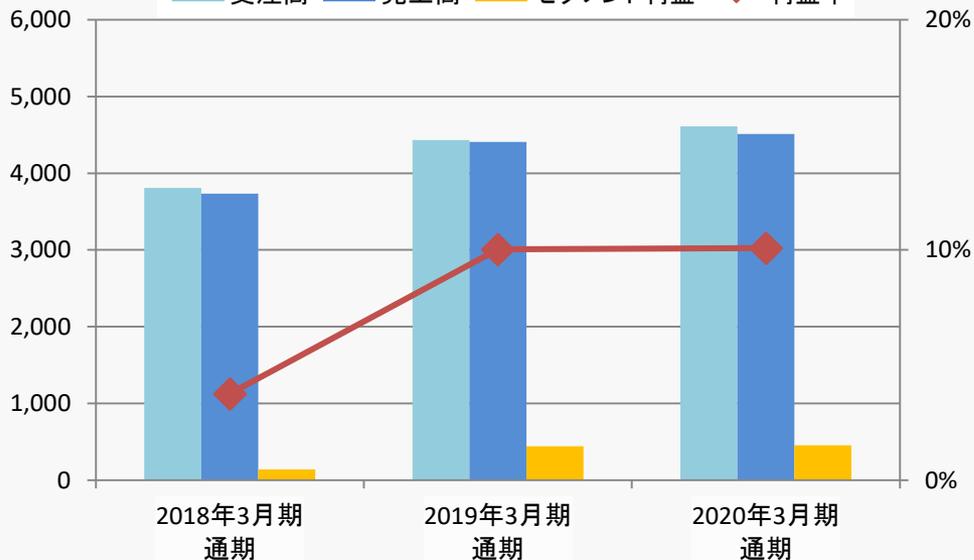
2-③ バルブ事業

(百万円)

	2019年3月期 通期	2020年3月期 通期	増減	
			増減額	増減率
受注高	4,434	4,612	178	4.0%
うち、海外受注高	555	612	57	10.3%
売上高	4,408	4,513	104	2.4%
うち、海外売上高	523	461	▲ 61	▲ 11.8%
セグメント利益	442	455	13	3.0%
利益率	10.0%	10.1%	+ 0.1 pt	

(百万円)

■ 受注高 ■ 売上高 ■ セグメント利益 ◆ 利益率



<受注高>

- 主要市場である化学業界を中心に人手不足を背景とした自動弁の需要が増加
- 二次電池業界などその他の業界においても自動弁の需要が増加
- チョコレート業界向けの受注が好調

<売上高>

- 好調な受注状況を反映

<セグメント利益>

- 増収による増益効果

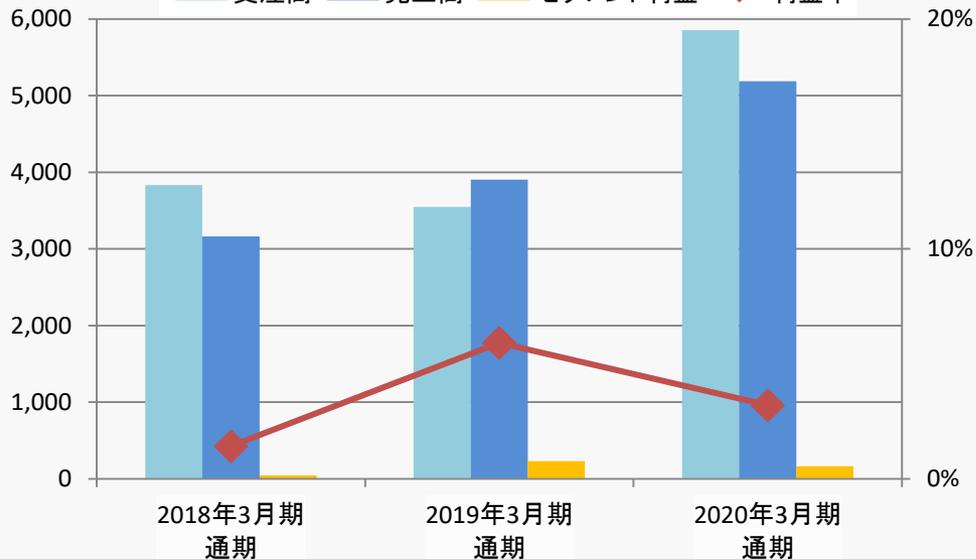
2-④ その他事業

(百万円)

	2019年3月期 通期	2020年3月期 通期	増減	
			増減額	増減率
受注高	3,546	5,852	2,305	65.0%
うち、海外受注高	1,446	2,336	889	61.5%
売上高	3,904	5,188	1,284	32.9%
うち、海外売上高	1,851	1,968	116	6.3%
セグメント利益	231	166	▲ 64	▲ 28.0%
利益率	5.9%	3.2%	▲ 2.7 pt	

(百万円)

■ 受注高 ■ 売上高 ■ セグメント利益 ◆ 利益率



<受注高>

- 新たに連結子会社となった小松川化工機株式会社の受注高が加算
- 中国子会社で染色仕上機器の大口案件
- 国内子会社マイクロゼロで食品機器の大口案件

<売上高>

- 小松川化工機株式会社の売上高が加算
- マレーシア子会社で食品、船舶向け熱交換器の案件増加

<セグメント利益>

- 国内子会社の業績が好調
- マレーシア子会社の増収による利益改善
- × 中国子会社の業績悪化

※ 当連結会計年度より、小松川化工機株式会社ほか2社を新たに連結の範囲に含めております。

3-① セグメント別の業績（受注高、売上高）

（百万円）

		2019年3月期 通期		2020年3月期 通期		増減	
		実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
受注高	熱交換器事業	11,277	34.6%	11,827	34.5%	550	4.9%
	食品機器	9,738	29.9%	7,745	22.6%	▲ 1,993	▲ 20.5%
	医薬機器	1,226	3.8%	2,048	6.0%	822	67.0%
	染色仕上機器	2,340	7.2%	2,180	6.3%	▲ 160	▲ 6.8%
	プロセスエンジニアリング事業	13,305	40.9%	11,973	34.9%	▲ 1,331	▲ 10.0%
	バルブ事業	4,434	13.6%	4,612	13.5%	178	4.0%
	その他事業	3,546	10.9%	5,852	17.1%	2,305	65.0%
	小計	32,564	100.0%	34,266	100.0%	1,702	5.2%
	連結調整額	▲ 1,894		▲ 2,313		▲ 418	
連結受注高	30,669		31,952		1,283	4.2%	
売上高	熱交換器事業	11,997	36.7%	11,552	33.5%	▲ 445	▲ 3.7%
	食品機器	8,337	25.4%	9,693	28.1%	1,356	16.3%
	医薬機器	2,185	6.7%	1,143	3.3%	▲ 1,042	▲ 47.7%
	染色仕上機器	1,947	5.9%	2,384	6.9%	437	22.4%
	プロセスエンジニアリング事業	12,470	38.0%	13,221	38.3%	750	6.0%
	バルブ事業	4,408	13.4%	4,513	13.1%	104	2.4%
	その他事業	3,904	11.9%	5,188	15.1%	1,284	32.9%
	小計	32,781	100.0%	34,476	100.0%	1,695	5.2%
	連結調整額	▲ 1,841		▲ 1,964		▲ 123	
連結売上高	30,939		32,511		1,571	5.1%	

※当連結会計年度より、小松川化工機株式会社ほか2社を新たに連結の範囲に含めております。

3-② セグメント別の業績（営業利益、受注残高）

（百万円）

		2019年3月期 通期		2020年3月期 通期		増減	
		実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
営業利益	熱交換器事業	952	43.9%	750	32.0%	▲ 202	▲ 21.2%
	プロセスエンジニアリング事業	544	25.0%	972	41.5%	428	78.7%
	バルブ事業	442	20.4%	455	19.4%	13	3.0%
	その他事業	231	10.7%	166	7.1%	▲ 64	▲ 28.0%
	小計	2,171	100.0%	2,345	100.0%	174	8.0%
	連結調整額	▲ 130		▲ 71		58	
	連結営業利益	2,040		2,274		233	11.4%
受注残高	熱交換器事業	3,388	26.1%	3,663	27.1%	275	8.1%
	食品機器	5,427	41.8%	3,478	25.7%	▲ 1,948	▲ 35.9%
	医薬機器	750	5.8%	1,655	12.3%	905	120.6%
	染色仕上機器	1,098	8.5%	894	6.6%	▲ 203	▲ 18.6%
	プロセスエンジニアリング事業	7,275	56.1%	6,028	44.6%	▲ 1,247	▲ 17.1%
	バルブ事業	949	7.3%	1,048	7.8%	98	10.4%
	その他事業	1,367	10.5%	2,769	20.5%	1,402	102.6%
	小計	12,981	100.0%	13,510	100.0%	528	4.1%
	連結調整額	▲ 364		▲ 726		▲ 361	
連結受注残高	12,617		12,784		167	1.3%	

※当連結会計年度より、小松川化工機株式会社ほか2社を新たに連結の範囲に含めております。

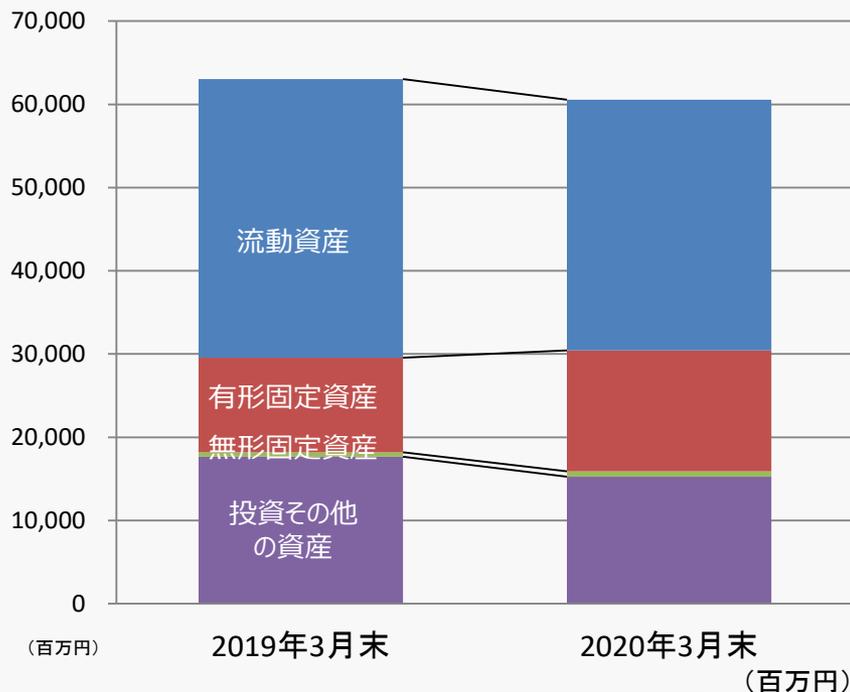
3-③ セグメント別の業績（対計画）

（百万円）

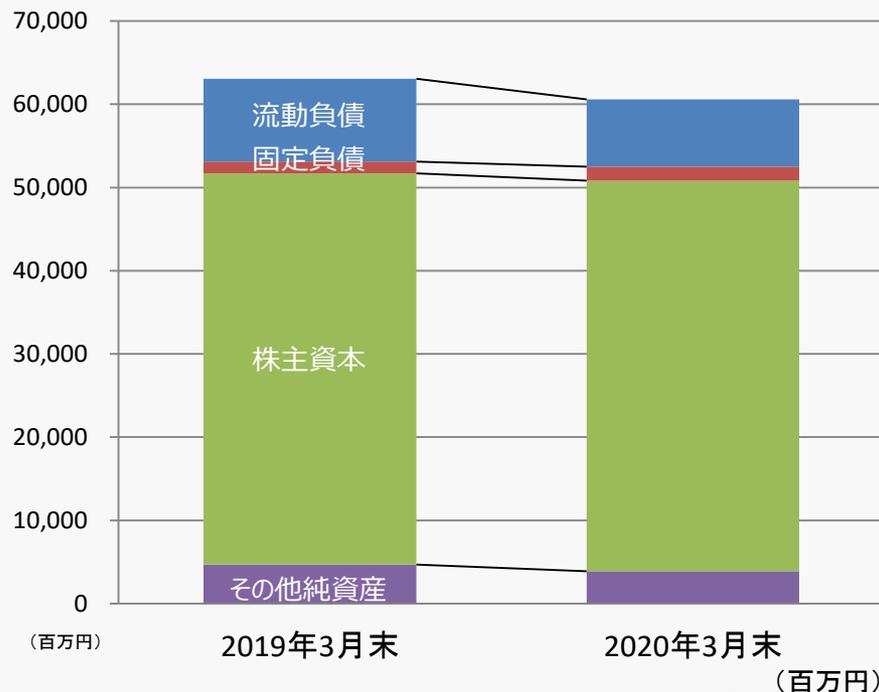
	2020年3月期 通期		2020年3月期 通期		計画比		
	計画	構成比	実績	構成比	差額	達成率	
受注高	熱交換器事業	12,200	37.0%	11,827	34.5%	▲ 372	96.9%
	食品機器	6,700	20.3%	7,745	22.6%	1,045	115.6%
	医薬機器	1,500	4.5%	2,048	6.0%	548	136.5%
	染色仕上機器	2,900	8.8%	2,180	6.3%	▲ 719	75.2%
	プロセスエンジニアリング事業	11,100	33.6%	11,973	34.9%	873	107.9%
	バルブ事業	4,200	12.7%	4,612	13.5%	412	109.8%
	その他事業	5,500	16.7%	5,852	17.1%	352	106.4%
	小計	33,000	100.0%	34,266	100.0%	1,266	103.8%
連結調整額	▲ 2,000		▲ 2,313		▲ 313		
連結受注高	31,000		31,952		952	103.1%	
売上高	熱交換器事業	11,800	35.2%	11,552	33.5%	▲ 247	97.9%
	食品機器	8,600	25.7%	9,693	28.1%	1,093	112.7%
	医薬機器	1,000	3.0%	1,143	3.3%	143	114.3%
	染色仕上機器	2,900	8.7%	2,384	6.9%	▲ 515	82.2%
	プロセスエンジニアリング事業	12,500	37.3%	13,221	38.3%	721	105.8%
	バルブ事業	4,200	12.5%	4,513	13.1%	313	107.5%
	その他事業	5,000	14.9%	5,188	15.1%	188	103.8%
	小計	33,500	100.0%	34,476	100.0%	976	102.9%
連結調整額	▲ 2,500		▲ 1,964		535		
連結売上高	31,000		32,511		1,511	104.9%	
営業利益	熱交換器事業	1,000	44.6%	750	32.0%	▲ 249	75.1%
	プロセスエンジニアリング事業	700	31.3%	972	41.5%	272	138.9%
	バルブ事業	340	15.2%	455	19.4%	115	134.1%
	その他事業	200	8.9%	166	7.1%	▲ 33	83.4%
	小計	2,240	100.0%	2,345	100.0%	105	104.7%
連結調整額	▲ 140		▲ 71		68		
連結営業利益	2,100		2,274		174	108.3%	

※当連結会計年度より、小松川化工機株式会社ほか2社を新たに連結の範囲に含めております。

4. 資産・負債・純資産の状況



	2019年3月末	2020年3月末	増減額
流動資産	33,494	30,139	▲ 3,355
有形固定資産	11,361	14,506	3,144
無形固定資産	541	650	109
投資その他の資産	17,643	15,269	▲ 2,373
固定資産合計	29,546	30,427	880
資産合計	63,041	60,566	▲ 2,474



	2019年3月末	2020年3月末	増減額
流動負債	9,935	8,070	▲ 1,865
固定負債	1,414	1,664	250
負債合計	11,349	9,735	▲ 1,614
株主資本	47,011	46,929	▲ 82
その他純資産	4,680	3,902	▲ 777
純資産合計	51,691	50,831	▲ 859
負債純資産合計	63,041	60,566	▲ 2,474

※当連結会計年度より、小松川化工機株式会社ほか2社を新たに連結の範囲に含めております。

5. キャッシュフローの状況

(百万円)

	2019年3月期	2020年3月期
営業活動による キャッシュ・フロー	2,011	2,018
投資活動による キャッシュ・フロー	▲ 1,400	▲ 3,035
財務活動による キャッシュ・フロー	▲ 604	▲ 2,168
現金及び現金同等物に 係る換算差額	▲ 14	▲ 38
現金及び現金同等物の 増減額	▲ 7	▲ 3,223
現金及び現金同等物の 期首残高	14,338	14,568
新規連結に伴う 現金及び現金同等物の増加額	237	—
現金及び現金同等物の 期末残高	14,568	11,344

※当連結会計年度より、小松川化工機株式会社ほか2社を新たに連結の範囲に含めております。

2021年3月期 決算の見通し

1. 2021年3月期 決算見通しの概要

(百万円)

	2020年3月期 実績 (参考)			2021年3月期 計画			増減額 (参考)			増減率 (参考)		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
受注高	16,001	15,951	31,952	13,100	13,900	27,000	▲ 2,901	▲ 2,051	▲ 4,952	▲ 18.1%	▲ 12.9%	▲ 15.5%
売上高	16,222	16,289	32,511	14,500	13,000	27,500	▲ 1,722	▲ 3,289	▲ 5,011	▲ 10.6%	▲ 20.2%	▲ 15.4%
営業利益	1,106	1,167	2,274	530	370	900	▲ 576	▲ 797	▲ 1,374	▲ 52.1%	▲ 68.3%	▲ 60.4%
営業利益率	6.8%	7.2%	7.0%	3.7%	2.8%	3.3%	▲ 3.2 pt	▲ 4.3 pt	▲ 3.7 pt			
経常利益	1,279	1,293	2,573	680	420	1,100	▲ 599	▲ 873	▲ 1,473	▲ 46.8%	▲ 67.5%	▲ 57.2%
経常利益率	7.9%	7.9%	7.9%	4.7%	3.2%	4.0%	▲ 3.2 pt	▲ 4.7 pt	▲ 3.9 pt			
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,137	942	2,080	470	290	760	▲ 667	▲ 652	▲ 1,320	▲ 58.7%	▲ 69.2%	▲ 63.5%
純利益率	7.0%	5.8%	6.4%	3.2%	2.2%	2.8%	▲ 3.8 pt	▲ 3.6 pt	▲ 3.6 pt			

※1 2021年3月期の計画は新型コロナウイルス感染拡大の影響が不透明な状況の下、受注の減少や延期、納期遅延などが発生することを前提とした数値としております。

※2 2021年3月期より「収益認識に関する会計基準」等を適用しているため、比較増減は参考として記載しております。詳細については、P42「会計方針の変更」をご参照ください。

2-① セグメント別の見通し(通期)

		セグメント 旧区分		セグメント 新区分		(百万円)	
		2020年3月期 実績 (参考)		2021年3月期 計画		増減 (参考)	
		通期	構成比	通期	構成比	増減額	増減率
受注高	熱交換器事業	11,827	34.5%	11,000	40.6%	-	-
	プロセスエンジニアリング事業	11,973	34.9%	12,000	44.3%	-	-
	バルブ事業	4,612	13.5%	4,000	14.7%	-	-
	その他事業	5,852	17.1%	-	-	-	-
	その他	-	-	100	0.4%	-	-
	小計	34,266	100.0%	27,100	100.0%	-	-
	調整額	▲ 2,313		▲ 100		-	-
連結受注高	31,952		27,000		▲ 4,952	▲ 15.5%	
売上高	熱交換器事業	11,552	33.5%	11,500	41.7%	-	-
	プロセスエンジニアリング事業	13,221	38.3%	12,100	43.8%	-	-
	バルブ事業	4,513	13.1%	3,900	14.1%	-	-
	その他事業	5,188	15.1%	-	-	-	-
	その他	-	-	100	0.4%	-	-
	小計	34,476	100.0%	27,600	100.0%	-	-
	調整額	▲ 1,964		▲ 100		-	-
連結売上高	32,511		27,500		▲ 5,011	▲ 15.4%	
営業利益	熱交換器事業	750	32.0%	700	63.7%	-	-
	プロセスエンジニアリング事業	972	41.5%	110	10.0%	-	-
	バルブ事業	455	19.4%	250	22.7%	-	-
	その他事業	166	7.1%	-	-	-	-
	その他	-	-	40	3.6%	-	-
	小計	2,345	100.0%	1,100	100.0%	-	-
	調整額	▲ 71		▲ 200		-	-
連結営業利益	2,274		900		▲ 1,374	▲ 60.4%	

※ 2021年3月期より事業セグメントを変更しているため、事業セグメントの比較増減は記載しておりません。

2021年3月期より「収益認識に関する会計基準」等を適用しているため、連結受注高、売上高、営業利益の比較増減は参考として記載しております。
詳細については、P42「会計方針の変更」をご参照ください。

2-② セグメント別の見通し(上期・下期)

		セグメント 旧区分		セグメント 新区分		(百万円)	
		2020年3月期 実績 (参考)		2021年3月期 計画		増減 (参考)	
		上期	下期	上期	下期	上期	下期
受注高	熱交換器事業	6,310	5,517	5,500	5,500	-	-
	プロセスエンジニアリング事業	5,801	6,172	5,500	6,500	-	-
	バルブ事業	2,268	2,344	2,100	1,900	-	-
	その他事業	2,773	3,078	-	-	-	-
	その他	-	-	50	50	-	-
	小計	17,154	17,111	13,150	13,950	-	-
	調整額	▲ 1,152	▲ 1,160	▲ 50	▲ 50	-	-
	連結受注高	16,001	15,951	13,100	13,900	▲ 2,901	▲ 2,051
売上高	熱交換器事業	5,728	5,824	6,000	5,500	-	-
	プロセスエンジニアリング事業	7,022	6,198	6,500	5,600	-	-
	バルブ事業	2,239	2,274	2,000	1,900	-	-
	その他事業	2,320	2,868	-	-	-	-
	その他	-	-	50	50	-	-
	小計	17,311	17,165	14,550	13,050	-	-
	調整額	▲ 1,088	▲ 876	▲ 50	▲ 50	-	-
	連結売上高	16,222	16,289	14,500	13,000	▲ 1,722	▲ 3,289
営業利益	熱交換器事業	438	312	360	340	-	-
	プロセスエンジニアリング事業	436	535	100	10	-	-
	バルブ事業	217	238	150	100	-	-
	その他事業	61	105	-	-	-	-
	その他	-	-	20	20	-	-
	小計	1,153	1,192	630	470	-	-
	調整額	▲ 46	▲ 24	▲ 100	▲ 100	-	-
	連結営業利益	1,106	1,167	530	370	▲ 576	▲ 797

※ 2021年3月期より事業セグメントを変更しているため、事業セグメントの比較増減は記載しておりません。

2021年3月期より「収益認識に関する会計基準」等を適用しているため、連結受注高、売上高、営業利益の比較増減は参考として記載しております。
詳細については、P42「会計方針の変更」をご参照ください。

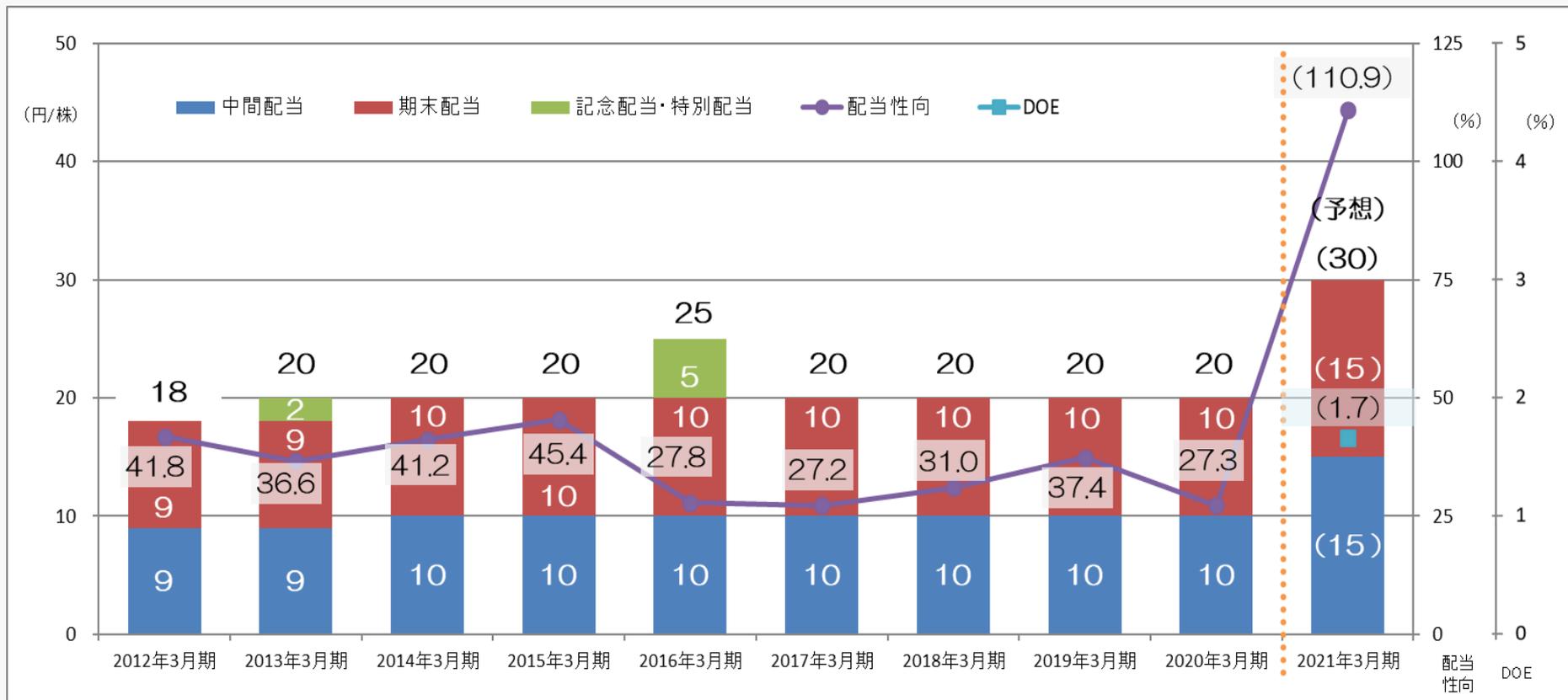
3. 設備投資・減価償却の計画

(百万円)

	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	
				(上期計画)	(計画)
設備投資	510	1,890	3,260	700	1,400
	熱交換器事業の金型、プロセスエンジニアリング事業の基幹システム など	熱交換器事業の金型、バルブ事業の機械設備、その他事業の工場及び工場用地取得 など	熱交換器事業の金型、バルブ事業の機械設備、青梅事業所の工場、生駒事業所の事業用地取得 など	各事業の設備増強・更新、熱交換器事業の基幹システム更新、鴻池事業所の大規模修繕 など	
減価償却	1,153	1,154	1,137	500	1,100

※ 2021年3月期より、有形固定資産の減価償却方法を変更しております。
 詳細については、P42「会計方針の変更」をご参照ください。

4. 配当の計画



当社の利益配分は、全てのステークホルダーの皆様に対し「公平」且つ「公正」を念頭に置きつつ、財務体質と経営基盤の強化を図りながら、株主の皆様に対する適正な利益の還元を利益配分の基本方針としています。具体的には、内部留保とのバランスを考慮しつつ、連結純資産及び連結業績の状況を勘案し、**連結純資産配当率(DOE)1.5%以上**を目途に継続的・安定的な配当に努めます。

※ 2021年3月期より「資本政策の基本的な方針」を制定し、配当の指標を「配当性向30%」より「連結純資産配当率(DOE)1.5%以上」に変更しております。「資本政策の基本的な方針」の詳細は、P41「資本政策」をご参照ください。

前中期経営計画

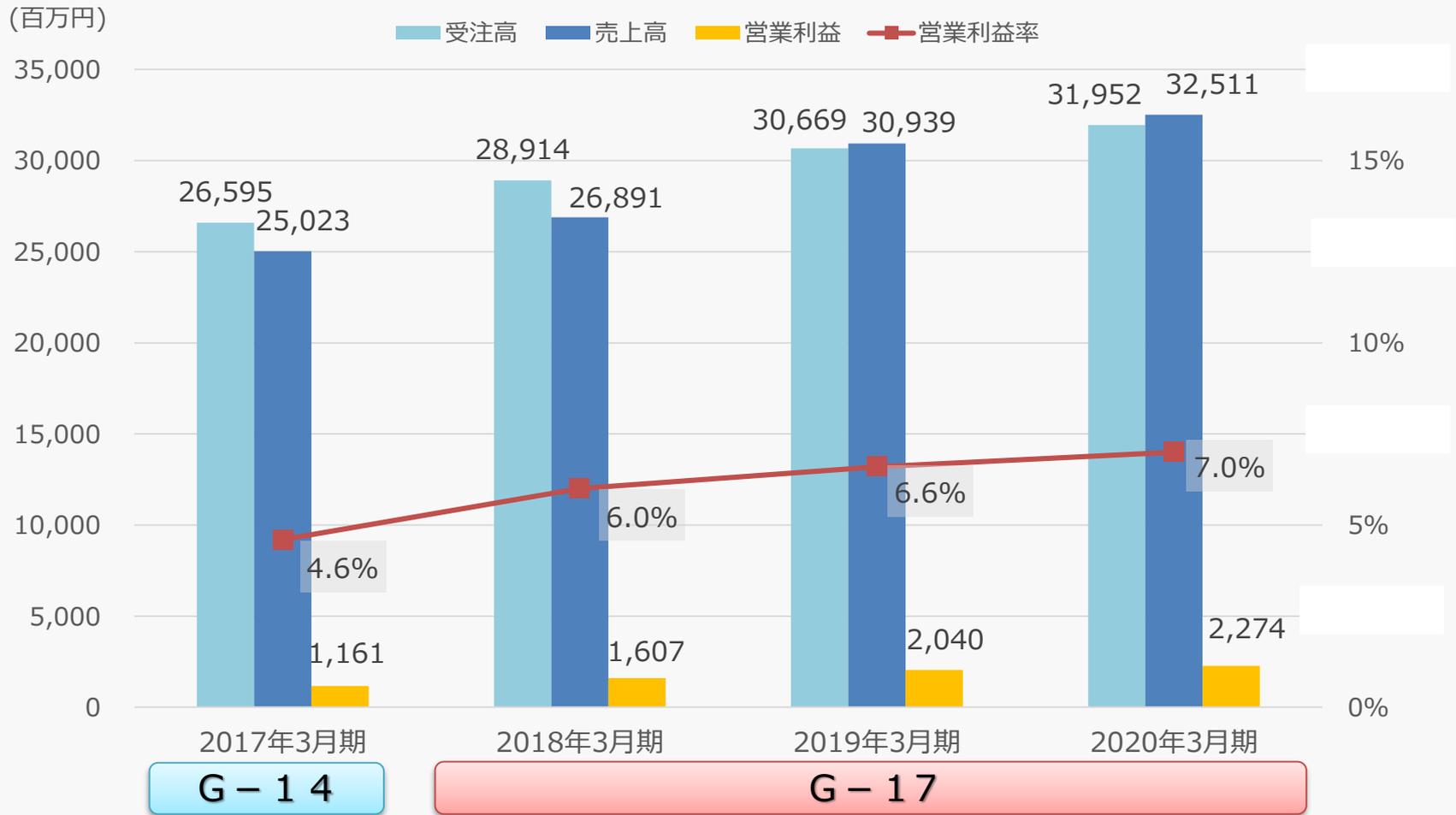
「G-17」の総括

1. 連結業績結果(目標比較)

(百万円)

	G-17 中計最終年度 (2020年3月期) 目標	G-17 中計最終年度 (2020年3月期) 実績	達成率		G-14 前中計最終年度 (2017年3月期) 実績
受注高	31,000	31,952	103.1%	達成	26,594
売上高	30,000	32,511	108.4%	達成	25,023
営業利益	2,400	2,274	94.8%	未達	1,161
営業利益率	8.0%	7.0%	▲0.1pt	未達	4.6%
経常利益	2,600	2,573	99.0%	未達	1,374
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,820	2,080	114.3%	達成	2,191
ROE	4.0%	4.1%	+0.1pt	達成	4.6%

2. 連結業績推移



▶ 新たな成長戦略も実施し、中期的な成長を概ね成し遂げることができた

3. セグメント別業績推移

(百万円)

	G-14 2017年 3月期	G-17			対2017年3月期実績		
		2018年 3月期	2019年 3月期	2020年 3月期	増減額	増減率	
受注高	熱交換器事業	10,843	11,415	11,277	11,827	984	9.1%
	プロセスエンジニアリング事業	11,017	12,024	13,305	11,973	956	8.7%
	バルブ事業	3,515	3,808	4,434	4,612	1,097	31.2%
	その他事業	2,731	3,831	3,546	5,852	3,120	114.2%
	小計	28,107	31,079	32,564	34,266	6,158	21.9%
	連結調整額	▲1,513	▲2,164	▲1,894	▲2,313	▲800	
連結受注高	26,594	28,914	30,669	31,952	5,358	20.1%	
売上高	熱交換器事業	11,042	11,125	11,997	11,552	510	4.6%
	プロセスエンジニアリング事業	9,433	10,836	12,470	13,221	3,788	40.2%
	バルブ事業	3,451	3,733	4,408	4,513	1,062	30.8%
	その他事業	2,636	3,164	3,904	5,188	2,552	96.8%
	小計	26,563	28,859	32,781	34,476	7,913	29.8%
	連結調整額	▲1,539	▲1,968	▲1,841	▲1,964	▲425	
連結売上高	25,023	26,891	30,939	32,511	7,488	29.9%	
営業利益	熱交換器事業	968	989	952	750	▲217	-22.5%
	プロセスエンジニアリング事業	297	458	544	1,080	972	327.4%
	バルブ事業	▲97	140	442	60	455	
	その他事業	▲50	45	231	65	166	
	小計	1,117	1,633	2,171	1,955	2,345	209.9%
	連結調整額	43	▲26	▲130	0	▲71	
連結営業利益	1,161	1,607	2,040	1,955	2,274	195.9%	

4. 主な取り組み

事業強化

M & A（小松川化工機株式会社）による医療機器製造販売事業の強化

事業強化

関東地区に青梅事業所を開設し、市場拡大が続く食品機器事業の営業領域を拡充

生産能力強化

新たな事業用地（奈良県生駒市）を取得し、マザー工場の生産能力強化に着手

生産革新

モノづくり革新活動（HNPS※）や基幹システム刷新による生産効率の向上 ※Hisaka New Production System

新事業創出

未来事業推進部創設により、専任制の新事業創出活動を常態化

CSR

CSR推進室による社会課題解決と持続可能な成長を目指す社員啓発活動の強化

新中期経営計画

「G-20」の概要

1. 10年後(2029年度)ビジョン

流体の熱と圧力の制御技術をより高く・より広く・より深く追及し、
社会課題の解決に貢献できる社員集団を実現する

売上高
500億円

営業利益
50億円

営業利益率
10%

Vision1

コア技術を、より高く、より広く、より深く追及し様々な社会課題の解決に貢献する社員集団が実現できている。

Vision2

CSR活動を通じたコーポレートガバナンス体制のより一層の強化が図れている。

Vision3

競争力・収益力の向上を図り、長期的な企業価値の増大に向けた企業経営の仕組みが構築できている。

2. 「G-20」ビジョン、スローガン

2020年度～2022年度 中期経営計画

G-20

Growth Governance
Global Goal

ビジョン

一人ひとりの挑戦で、事業の発展と共に
活力ある社員集団を実現する

スローガン

新たな取り組みで新たな価値を創造し、
圧倒的な存在感 No. 1 企業を全員で
実現しよう！

日版製作所「G-20」中期ビジョン

一人ひとりの挑戦で、
事業の発展と共に
活力のある社員集団を実現する

変わろう、変えよう!

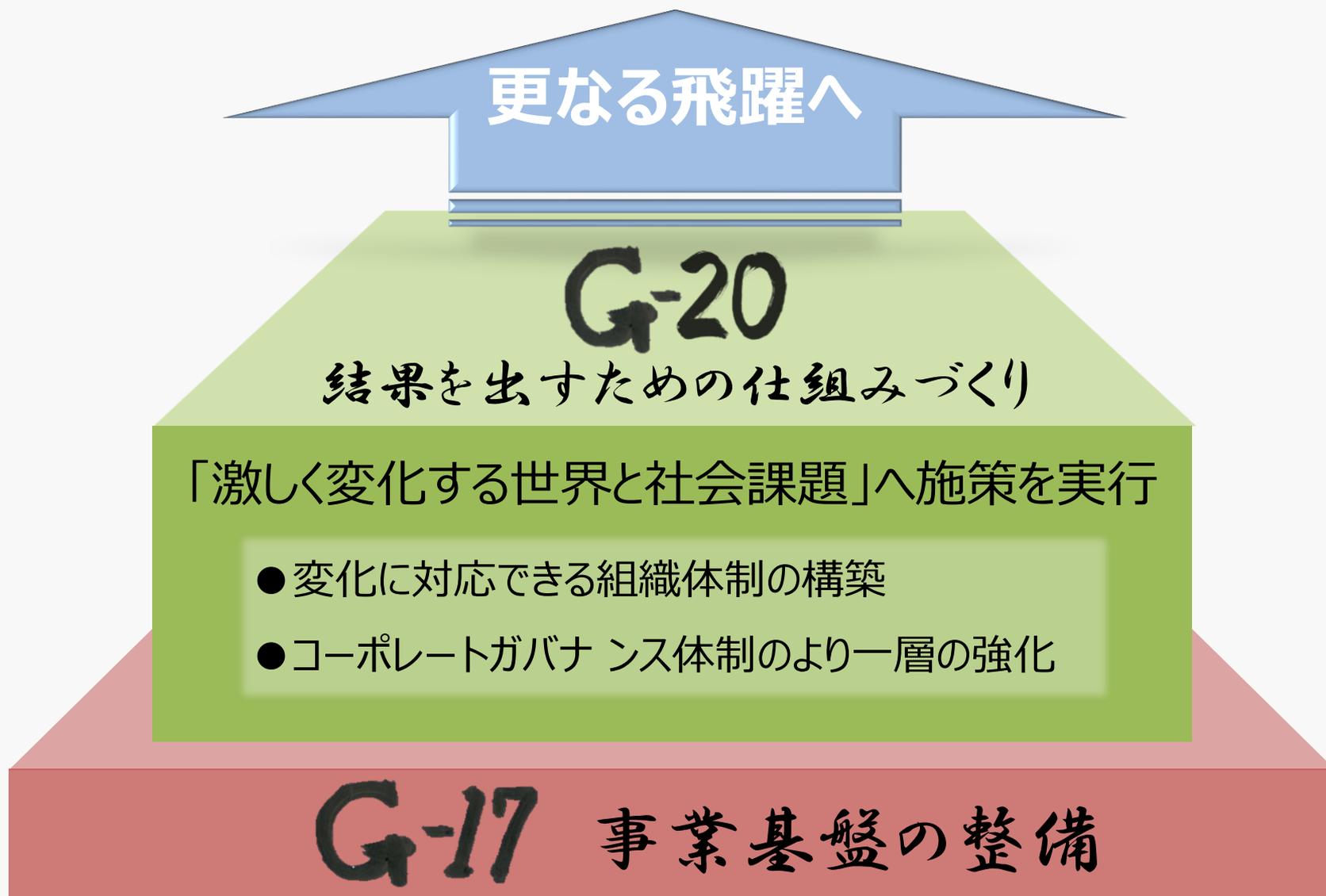
Change makes Change

日版製作所「G-20」スローガン

圧倒的な存在感No.1企業
新たな価値の創造
Value Creation

新たな取り組みで新たな価値を創造し、
圧倒的な存在感No.1企業を
全員で実現しよう!

3. 「G-20」の位置づけ



4. CSR-SDGsビジョン

① 日阪グループの保有技術を活用したソリューションの提供により、顧客の課題及び社会課題が解決できる



② 多様性（働き方、性別・国籍・障がい等を含む個性）を活かし、みんなが健康で活躍できる



③ 災害対応力の強い会社になる



④ MOTTAINAI活動（Reduce：減らす、Reuse：繰り返し使う、Recycle：再資源化する）でCO2排出量削減ができる



⑤ ガバナンス向上による成長と健全かつ適正な業務運営(コンプライアンス経営)ができる



⑥ パートナーシップによる社会課題解決ソリューションの提供ができる



5. 連結業績目標

(百万円)

	G-17 最終年度 2020年3月期 実績	G-20目標				増減率
		2021年3月期 当初計画	2021年3月期 修正計画	2022年3月期 計画	2023年3月期 計画	
受注高	31,952	33,000	27,000	34,000	35,000	9.5%
売上高	32,511	32,000	27,500	33,000	34,000	4.6%
営業利益	2,274	2,000	900	2,300	2,720	19.6%
営業利益率	7.0%	6.3%	3.3%	7.0%	8.0%	+1.0pt
経常利益	2,573	2,200	1,100	2,500	2,920	13.5%
親会社株主に帰属 する当期純利益	2,080	1,500	760	1,700	2,000	▲3.9%
ROE	4.1%	2.9%	1.5%	3.3%	3.8%	▲0.3pt

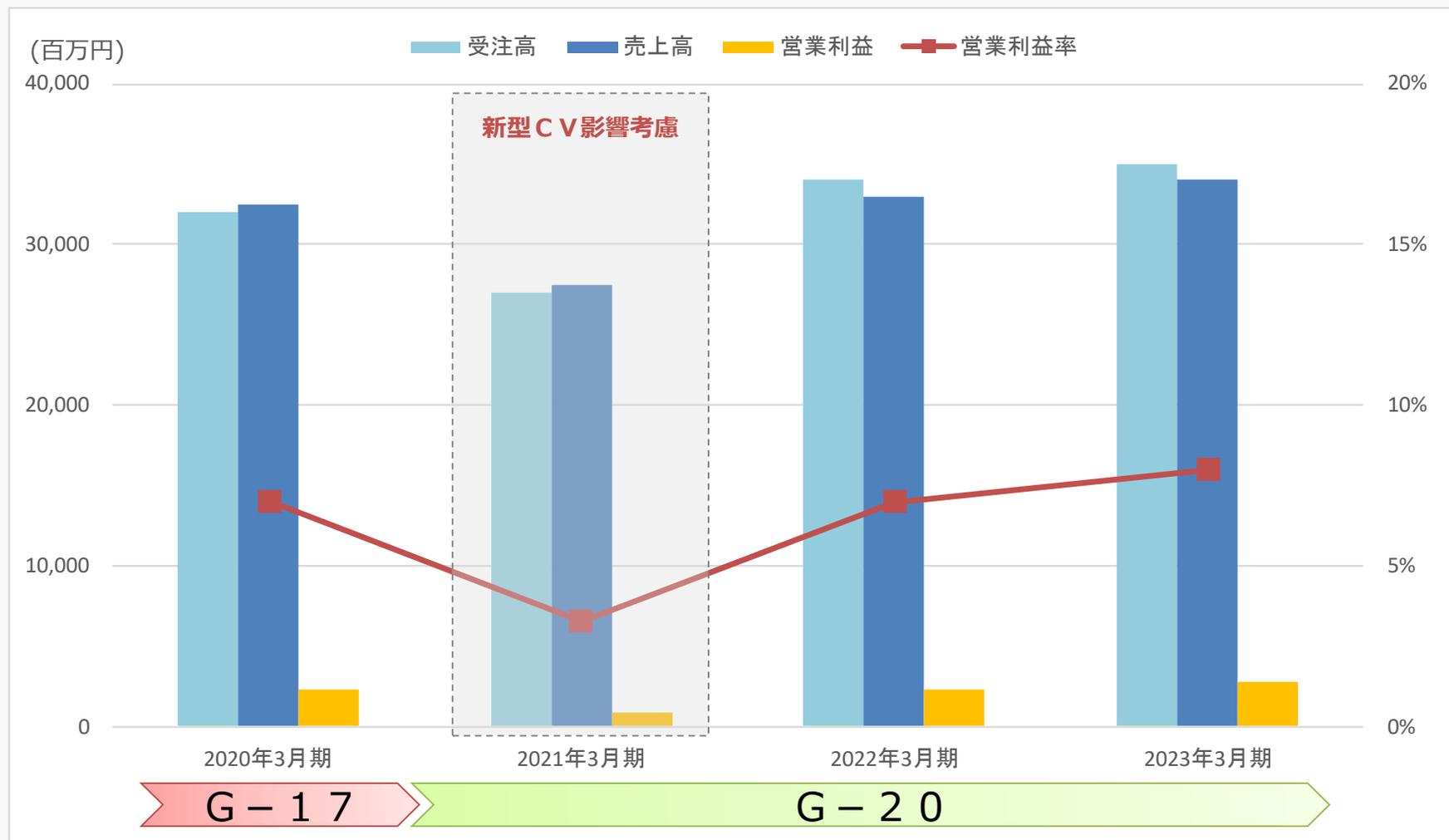
※：増減率は「G-17」2020年3月期と「G-20」2023年3月期の比較です。

注：上記の連結業績目標には、新型コロナウイルス感染拡大による業績への影響を織り込んでおりません。

なお、2021年3月期の計画につきましては新型コロナウイルスの影響により修正をかけております。

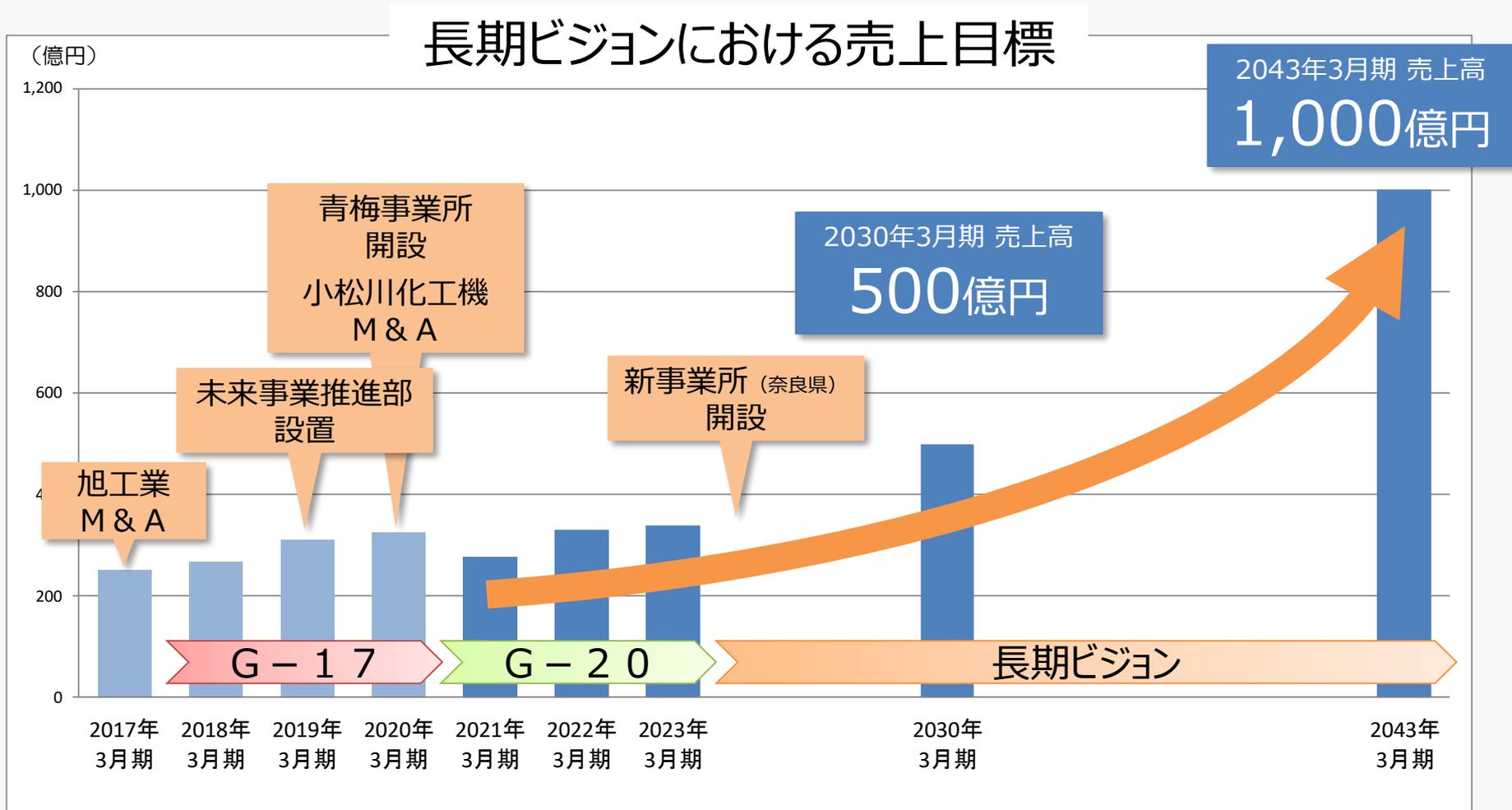
今後、「G-20」の連結業績目標に変更が生じた場合は、速やかにお知らせいたします。

6. 連結業績目標グラフ



注：上記の連結業績目標には、新型コロナウイルス感染拡大による業績への影響を織り込んでおりません。
 なお、2021年3月期の計画につきましては新型コロナウイルスの影響により修正をかけております。
 今後、「G-20」の連結業績目標に変更が生じた場合は、速やかにお知らせいたします。

7. 長期売上目標



2043年3月期（創業100周年）売上高目標を1,000億円に設定。
M & A や新事業所開設、新規事業創出などの成長戦略を推進。

8. 熱交換器事業の取り組み

きつと・もつと・ずっと - 熱で未来を創造する The Thermal Solution Company
を掲げ、熱に関する社会課題を解決できる**業界No. 1 企業**を目指す。

熱ソリューション

- 顧客の熱に関する課題を解決する「熱ソリューション」の提供を推進。

セグメントマトリクス組織

- 前中計で実施したセグメントマトリクス組織の深化とセグメント間の連携強化。

SDGs

- SDGsの考え方に基づく新製品・技術・サービスの開発。

グローバルモノづくり活動

- 日本、マレーシア、中国におけるグローバルモノづくり活動の推進。

海外事業強化

- 東アジア、ASEAN、オセアニア、MENA(Middle East & North Africa)でのシェア拡大。

9. プロセスエンジニアリング事業の取り組み

世の中で求められているもの、新しい価値となるものを第一に考え、顧客の期待を超える**No. 1の製品**と**No. 1のサービス**を提供する。

新事業開発

- 時代に合わせたニーズを汲み取る新たな事業の開発。

顧客ニーズへの対応

- 顧客企業の省人・省力・高品質生産ニーズに応える製品・システムの提供。

海外生産体制強化

- 中国子会社における生産体制強化。

グループ内連携強化

- 国内子会社との連携による食品機器・医薬機器に関する事業強化。

新事業所開設準備

- 生駒事業所（2023年度開設予定）での生産体制構築に向けた準備活動。

10. バルブ事業の取り組み

様々な業界に**No. 1 品質・性能**のボールバルブを提供し、お客様の事業活動を通じて健全な社会作りに貢献する。

重点市場への営業強化

- 主要販売先である化学業界への受注を拡大するとともに重点市場への営業を強化。

用途限定弁の強化

- 用途限定弁の販売強化によるシェア拡大。

SDGs

- 社会課題の解決と持続可能な社会の実現に貢献できる製品の販売。

海外事業の強化

- 中国及びタイを中心としたASEAN地域への販売強化。

生産体制再構築

- さらなる売上拡大を目的とする鴻池事業所での生産体制再構築に向けた準備活動。

11. 事業セグメントの組み替え

【従来の事業セグメント】

熱交換器事業	(株)日阪製作所			
プロセスエンジニアリング事業	(株)日阪製作所			
バルブ事業	(株)日阪製作所			
その他事業	その他	子会社 (熱交換器)	子会社 (P E)	子会社 (バルブ)



【2021年3月期以降の事業セグメント】

熱交換器事業	(株)日阪製作所		子会社 (熱交換器)
プロセスエンジニアリング事業	(株)日阪製作所		子会社 (P E)
バルブ事業	(株)日阪製作所		子会社 (バルブ)
その他	その他	※太陽光発電、不動産賃貸など	

(注) 上記図表はイメージであり、各事業の事業規模を正確に表したものではありません。

▶ 子会社の事業を主要 3 事業と一体化し、各事業の成長を目指す。

12. 事業別業績目標

		セグメント 旧区分		セグメント 新区分		(百万円)	
		G-17最終年度 2020年3月期 実績(参考)		G-20最終年度 2023年3月期 計画		増減 (参考)	
		通期	構成比	通期	構成比	増減額	増減率
受注高	熱交換器事業	11,827	34.5%	13,200	37.6%	-	-
	プロセスエンジニアリング事業	11,973	34.9%	17,400	49.6%	-	-
	バルブ事業	4,612	13.5%	4,400	12.4%	-	-
	その他事業	5,852	17.1%	-	-	-	-
	その他	-	-	100	0.3%	-	-
	小計	34,266	100.0%	35,100	100.0%	-	-
	調整額	▲ 2,313		▲ 100		-	-
連結受注高		31,952		35,000		3,047	9.5%
売上高	熱交換器事業	11,552	33.5%	12,800	37.5%	-	-
	プロセスエンジニアリング事業	13,221	38.3%	16,900	49.6%	-	-
	バルブ事業	4,513	13.1%	4,300	12.6%	-	-
	その他事業	5,188	15.1%	-	-	-	-
	その他	-	-	100	0.3%	-	-
	小計	34,476	100.0%	34,100	100.0%	-	-
	調整額	▲ 1,964		▲ 100		-	-
連結売上高		32,511		34,000		1,488	4.6%
営業利益	熱交換器事業	750	32.0%	1,200	41.6%	-	-
	プロセスエンジニアリング事業	972	41.5%	1,300	45.0%	-	-
	バルブ事業	455	19.4%	350	12.1%	-	-
	その他事業	166	7.1%	-	-	-	-
	その他	-	-	40	1.4%	-	-
	小計	2,345	100.0%	2,890	100.0%	-	-
	調整額	▲ 71		▲ 170		-	-
連結営業利益		2,274		2,720		445	19.6%

※ 2021年3月期より事業セグメントを変更しているため、事業セグメントの比較増減は記載しておりません。

2021年3月期より「収益認識に関する会計基準」等を適用しているため、連結受注高、売上高、営業利益の比較増減は参考として記載しております。

詳細については、P42「会計方針の変更」をご参照ください。

13. 資本政策

- 株主への利益還元、強固な財務基盤の確保、戦略的投資をバランスよく考慮する
- 「R O E」を株主価値向上の重要指標とし、資本コストを上回る R O Eを目指す

株主への利益還元

- ◆ 連結業績を勘案しつつ **DOE 1.5%以上**※を目途に配当を実施
→ **1株当たり配当金を30円/年に増配**
- ◆ 弾力的、機動的な自己株式取得を実施

戦略的投資

- ◆ 経営基盤の強化
→ 新事業所開設
新事業開発

株主価値向上

効率的な資本政策で
資本コストを上回る
R O Eを目指す

強固な財務基盤の確保

- ◆ 財務体質の強化

※ DOE:連結純資産配当率
配当金につきましては、
P22「配当の計画」もご覧ください。

14. 会計方針の変更

2021年3月期より会計方針の一部変更を実施

(1) 収益認識基準の適用

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)及び「収益認識に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第30号 2020年3月31日)を適用。
出荷基準から検収基準となる案件は、売上計上時期が後ろ倒しとなるケースがある等、一部収益においてその金額及び時期について前後することが想定される。

(2) 有形固定資産の減価償却方法の変更

有形固定資産の減価償却方法を定率法から定額法に変更。

(変更理由)

当社グループ間の業績・コスト比較やグローバル生産拡大等の様々な意思決定を含む経営強化及びグローバル化推進のため。

<お問い合わせ先>

(株)日阪製作所 経営企画本部 経営戦略部

WEB : <https://www.hisaka.co.jp>

e-mail : ir@hisaka.co.jp

TEL : 06-6363-0015

〒530-0057

大阪市北区曾根崎2-12-7 (清和梅田ビル20階)



株式会社 ^ひ日 ^さ阪 製作所

～ロゴマークの由来～

日本の「日」とステンレス (STAINLESS) の「S」を組み合わせてデザインした。また、丸い形は成熟を表しており、豊かな人間性をもって社員と製品がともに成熟していくようにという願いを込めている。

～社名の由来～

日本の中でも商いの町の代名詞である大阪のような活気あふれる会社になりたいとの願いを込めて、日本の「日」と大阪の「阪」をとり、「日阪製作所」と命名した。

(注) 本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想に達成、及び将来の業績を保証するものではありません。また、これらの情報が今後予告なしに変更されることがあります。従いまして、本情報および資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合を確認し、利用者の判断によって行っていただきますようお願いいたします。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。